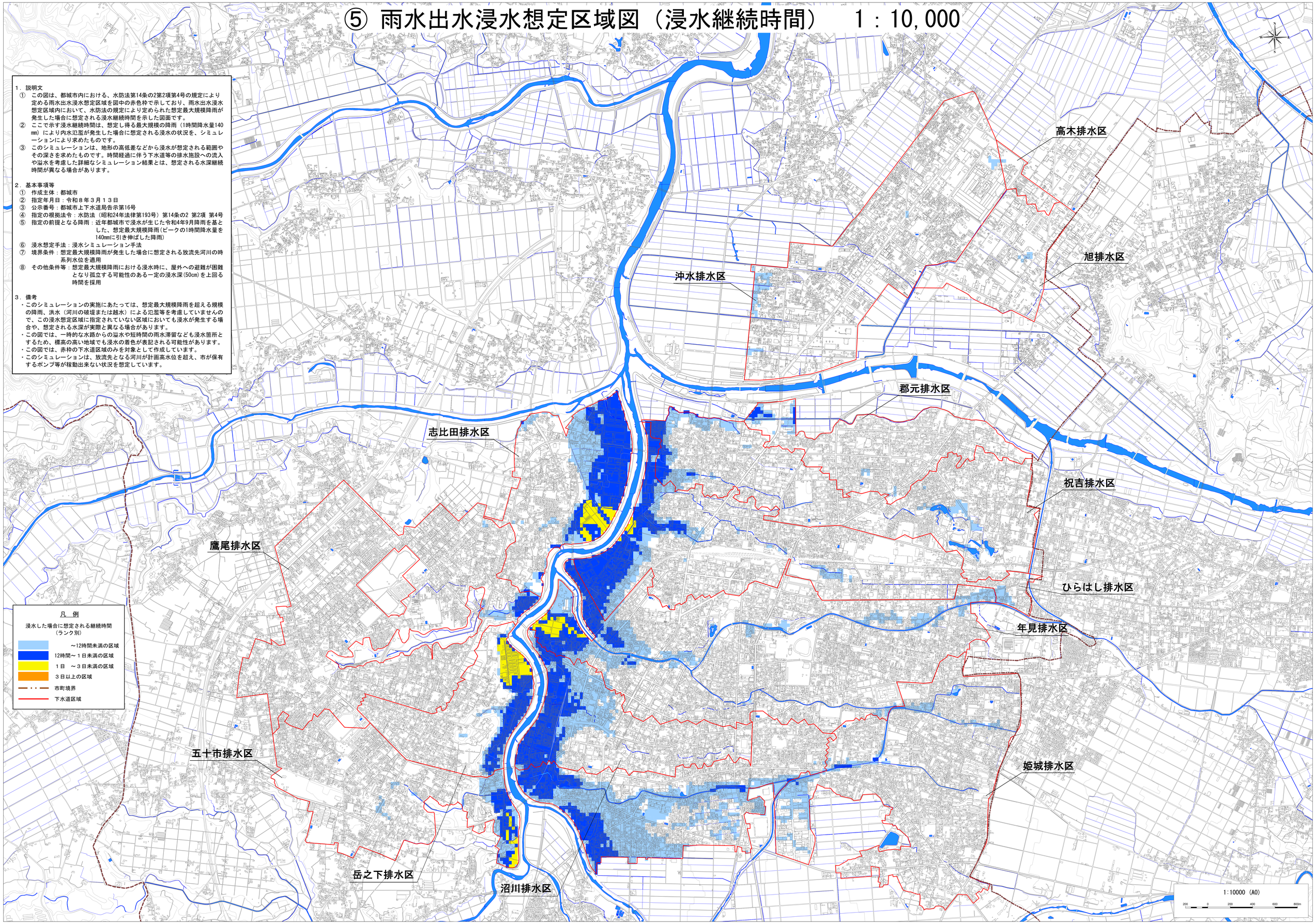
⑤ 雨水出水浸水想定区域図（浸水継続時間）　1：10,000



1．説明文

①　この図は、都城市内における、水防法第14条の2第2項第4号の規定により定める雨水出水浸水想定区域を図中の赤色枠で示しており、雨水出水浸水想定区域内において、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨が発生した場合に想定される浸水継続時間を示した図面です。

②　ここで示す浸水継続時間は、想定し得る最大規模の降雨（1時間降水量140㎜）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

③　このシミュレーションは、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深継続時間が異なる場合があります。

2．基本事項等

①　作成主体：都城市

②　指定年月日：令和８年３月１３日

③　公示番号：都城市上下水道局告示第16号

④　指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2 第2項 第4号

⑤　指定の前提となる降雨：近年都城市で浸水が生じた令和4年9月降雨を基とした、想定最大規模降雨(ピークの1時間降水量を140㎜に引き伸ばした降雨)

⑥　浸水想定手法：浸水シミュレーション手法

⑦　境界条件：想定最大規模降雨が発生した場合に想定される放流先河川の時系列水位を適用

⑧　その他条件等：想定最大規模降雨における浸水時に、屋外への避難が困難となり孤立する可能性のある一定の浸水深(50cm)を上回る時間を採用

3．備考

・このシミュレーションの実施にあたっては、想定最大規模降雨を超える規模の降雨、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

・この図では、一時的な水路からの溢水や短時間の雨水滞留なども浸水箇所とするため、標高の高い地域でも浸水の着色が表記される可能性があります。

・この図では、赤枠の下水道区域のみを対象として作成しています。

・このシミュレーションは、放流先となる河川が計画高水位を超え、市が保有するポンプ等が稼動出来ない状況を想定しています。